

片瀬のぞみだより(9月号)

日本基督教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
家庭通信2017. No.5

月主題聖句

『 平和な人には未来がある 』

詩編37章37節

片瀬教会牧師 柴 適

真夏の太陽の陽射しや台風の驚異と被害から早く解放されたい9月になりました。秋を待ち遠しく思う時、海岸沿いには、赤トンボが群れをなして、秋の到来を告げるように虫たちを求めて空を乱舞しています。自然の営みの中に秋を感じます。長い夏休みをご家庭の皆様と過ごされたお子様が、色々な経験や体験をして逞しく日焼けして元気に登園される姿は、太陽の光以上に眩しく輝いているようです。お子様の二学期の成長がとても楽しみです。さて、今月の聖書は紀元前10世紀～紀元前2世紀頃の時代の『神様を賛美する詩』150編の中の37編37節の言葉です。『平和』とは、(1) 戦争や紛争がなく、世の中がおだやかな状態にあること。また、その様子 (2) 心配やもめごとがなく、穏やかなこと。また、その様子、と言われます。毎年、8月6日の広島原爆投下や8月9日の長崎原爆投下、

8月15日の終戦日が近づくと戦争の悲惨さと平和の問題が取り上げられます。アメリカのオバマ大統領が5月27日、広島を訪問しました。これは、歴史的な訪問となりました。日本が仕掛けた太平洋戦争に勝利したアメリカ大統領が、敵意の壁を乗り越えて来られました。この勇気と平和に対する未来への希望を力強く宣言されました。オバマ大統領はスピーチの中で『核を保有する国々は恐怖の論理から逃れ、核兵器のない世界を追求する勇気を持たなければならない』と訴えました。又8月6日に原爆投下による平和祈念式典の中で、広島の松井一實市長は、挨拶の中でオバマ大統領のこの言葉を引用し『あの絶対悪を許さないというヒロシマの思いが、オバマ大統領に届いたことの証でした』とスピーチされ核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けていく平和宣言を行いました。何時の時代も平和を希求して行かなければなりません。『平和な人には未来がある』この言葉の前には『無垢であろうと努め、まっすぐに見ようとせよ』とあります。つまりこの37節は『無垢であろうと努め、まっすぐに見ようとせよ。平和な人には未来がある』となります。『無垢』とは、『心身の汚れていないこと、純真なこと』で、純真無垢に生きること『平和な人』とは、ここでは、無垢で、曲がった心を持たずしっかりとまっすぐな視線を持って歩む人だと聖書は教えます。7月14日(木)に『はと組』さんが羽田空港見学に行きました。帰りの待ち時間にA子さんがB子さんに手を繋ぎたいとお願いした時にB子があなには私と手を繋ぐのではなく今まで繋いでいたC子さんでしょ、と諭すように優しく答えていました。それでもA子さんはB子と繋ぎたいと訴えました。するとB子さんは、私でいいの？聞いてから、うんと答えたA子さんにそれでは手を繋ごうと言って、手を繋いでいました。私は、この光景を見ていてB子さんは本当に平和な人だと感心しました。些細な数分の出来事の中に、人に対する優しさと正しい目、自分の立場をしっかりと相手に伝えるまっすぐな心の触れ合いが、園で学んでいる神様の愛を伝える自然の行為になっていることを知らされました。私達教師は、園児の皆さんが平和な人になって未来を担う人に成長して行く無垢でまっすぐな視線を大切に育む保育を目指して収穫の秋の二学期にサポートして行きたいと願っています。今学期も保護者の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。